

## お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料（血液・骨髄液など）を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている試料（血液・骨髄液など）を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

**【研究課題名】 がんに対する新規免疫療法の開発研究**

**【研究機関】 愛媛大学大学院医学系研究科 血液・免疫・感染症内科学講座**

**【研究責任者】 越智俊元（血液・免疫・感染症内科学講座 特任講師）**

**【研究の目的】**

愛媛大学医学部附属病院・血液・免疫・感染症内科学講座では、白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫など、血液がん患者様の診療に、日々全力で取り組んでおります。しかし、未だに原因や病態が解明されず、結果として有効な治療法が確立できていない病気を数多く経験します。

我々は、このような治癒の難しい病気に対して新たな診断法、治療法を確立することが、大学病院のもう一つの重要な使命であると考えております。我々はこれまでに、文書による同意を頂いた上で、患者様の診断、治療を目的として患者様に由来する血液がん細胞を保管して参りました。そこで、今後の患者様の診療に差し支えがないと考えられる検体（残余検体）を、「がんに対する新規免疫療法の開発研究」において活用させて頂きたくお願い申し上げます。

近年、血液がんを含めた、がんに対する免疫療法が新たな治療法として注目を集めるようになりました。我々も、遺伝子改変技術を応用し、体内の免疫システムを上手く活用して血液がんを治療する新たな治療法の開発を行っております。そのためには、ヒト血液細胞、ヒト血液がん細胞を用いて、これらの治療法や治療薬が有効であることを確かめるための研究が必要となります。

新たに開発した治療法/治療薬を患者様へと還元していくために、上記血液検体のご提供を何卒お願い申し上げます。

### 【研究の方法】

当講座で開発した、免疫力を応用したがんに対する新たな治療法が有効であることを、患者様よりすでにご提供頂いたヒト血液細胞を活用して検証します。

### 【個人情報の取り扱い】

研究の一環として、頂いた血液検体の中に含まれる、白血球が保持する血液型 (HLA (ヒト白血球抗原)) を調べさせて頂くことがございます。治療効果に影響すると思われる1つないしは2つのHLA型のみ確認することで、個人情報に繋がらないように配慮致します。また、血液検体の中に含まれる、治療効果に影響すると考えられている白血球が保持するT細胞受容体遺伝子、抗体遺伝子配列を調べさせて頂く場合がございます。本遺伝子配列は、個々人で異なるだけでなく、個人の中でも非常に多様性に富む遺伝子配列でございますので、個人情報には該当しない遺伝子情報と考えられます。これらの情報は、血液検体とともに、鍵のかかる研究室内で厳重に管理致します。

### 【試料・情報の管理責任者】血液・免疫・感染症内科学講座 越智俊元

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

### 【本研究の資金源と利益相反】

この研究の一部は、国および企業に由来する競争的研究資金によって支援されています。その成果として、特許など知的財産権が得られる場合がございます。その際、金銭を含む謝礼等はありませんことをお含み置きください。

### 【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院血液・免疫・感染症内科学講座 越智俊元  
791-0295 愛媛県東温市志津川  
Tel: 089-960-5296